

第4章 指標の設定

- 1 指標設定の考え方
- 2 重点課題と目標値の関連
- 3 評価指標項目と目標値

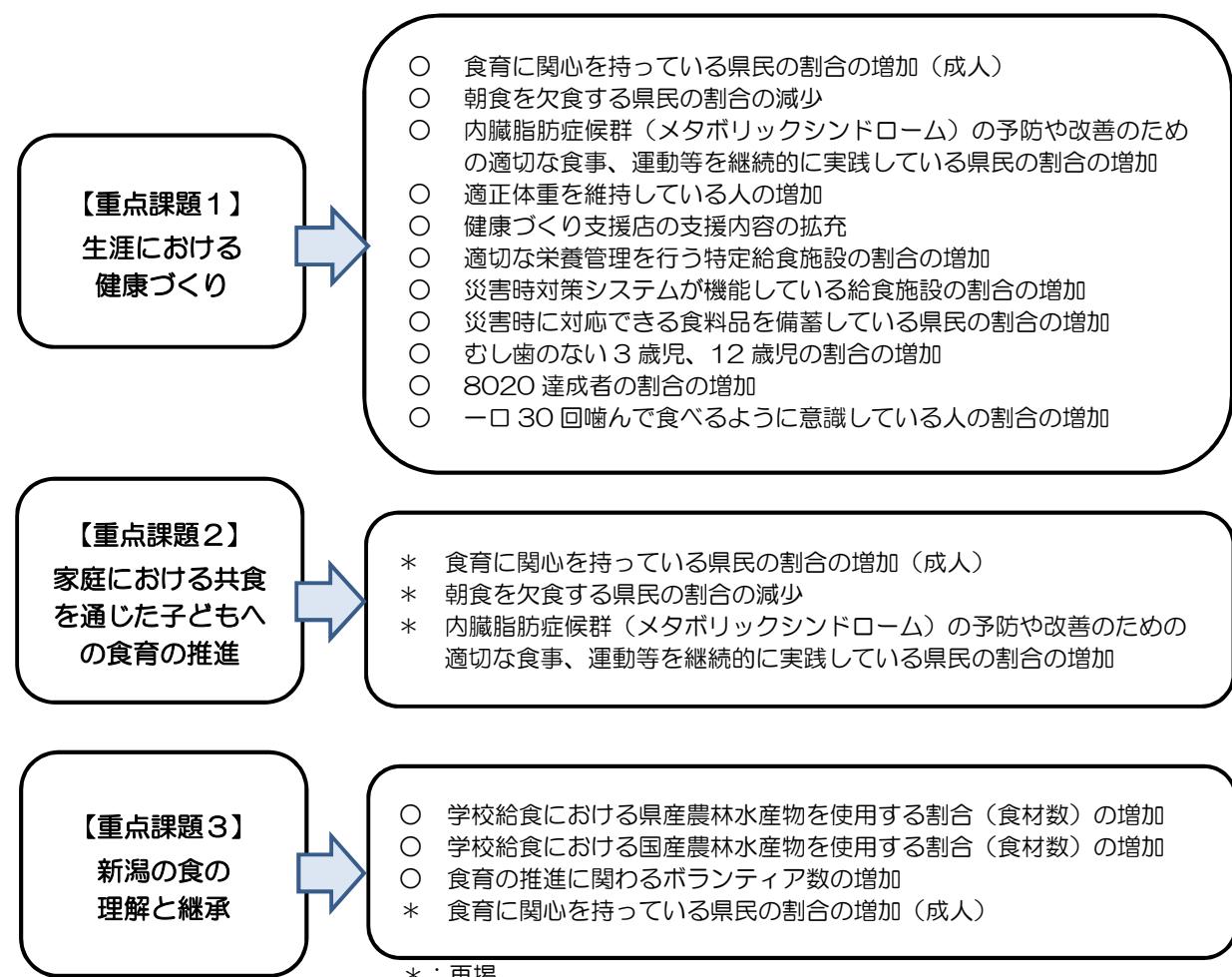
1 指標設定の考え方

指標は、県の施策により効果が期待できるものを設定します。

なお、指標設定に当たっては、第2次計画（平成25年度から平成28年度）の指標と国が示した指標を勘案し、継続的に把握が可能な指標を設定します。

また、指標の目標値設定は「健康にいがた21（第2次）」と同様、平成34年度までの長期目標値を設定した上で、平成32年度までの目標値を設定します。

2 重点課題と目標値の関連



3 評価指標項目と目標値

色つきセル：新規評価指標項目 ●：第2次計画改定で変更 ★：食育推進基本計画（国）と同様（類似も含む）

重点課題	評価指標項目	第1次計画策定時 (H16)	基準値 【第2次計画策定時】 (H23)	直近値 (H27)	目標値 (H32)	長期目標値 (H34)	出典
1,2,3	★食育に关心を持っている県民の割合の増加（成人）	(H18) 59.8%	57.2%	56.6%	84%	90%	県民健康・栄養実態調査
1,2	★朝食を欠食する県民の割合の減少	小学5年生	2.6%	1.1%	1.1%	0%	0%
		15～19歳	男子	15.6%	11.4%	0.0%	0%
			女子	4.0%	10.9%	3.3%	0%
		20歳代	男性	18.0%	20.8%	17.8%	15%
			女性	20.3%	18.1%	20.5%	15%
		30歳代	男性	19.5%	28.7%	18.8%	15%
			女性	7.0%	16.9%	16.2%	15%
		★主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合（成人）	－	(H24) 62.1%	46.0%	76%	80%
		★主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合（20～30歳代）	－	－	34.8%	46%	52%
		★ふだんの食事における減塩の取組状況（成人）	－	(H24) 64.8%	61.7%	77%	80%
1,2	内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している県民の割合の増加	食塩摂取量の減少（成人）	11.6g	10.8g	10.2g	9g未満	9g未満
		野菜摂取量の減少（成人）	316.8g	323.3g	344.6g	350g	350g
		果物摂取量100g未満の人の割合の減少（成人）	－	56.9%	54.6%	42%	39%
		歩数の増加	20～64歳 男子	7,352歩	7,203歩	8,200歩	8,400歩
			女子	7,228歩	6,148歩	8,200歩	8,200歩
			男子	5,339歩	4,752歩	6,100歩	6,300歩
			女子	4,149歩	4,260歩	5,000歩	5,200歩
		肥満傾向にある子どもの割合の減少（小学5年生）	男子 女子	10.8% 8.0%	7.4% 9.4%	減少させる 減少させる	減少させる 減少させる
		20歳代女性やせの人の割合の減少	26.2%	17.3%	20.6%	20%	20%
		20～60歳代男性肥満者の割合の減少	25.3%	30.2%	24.9%	24%	24%
		40～60歳代女性肥満者の割合の減少	23.4%	23.9%	20.4%	19%	18%
		低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者（65歳以上）の割合の抑制	－	14.9%	19.0%	16%	16%
1	健康づくり支援店の支援内容の拡充（支援内容を2つ以上実施する店の割合）	－	34.5%	42.0%	58%	64%	健康対策課調査
1	適切な栄養管理を行う特定給食施設の割合の増加（管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合）	56.7%	56.8%	60.9%	75%	80%	衛生行政報告例
1	●災害時対策システムが機能している給食施設の割合の増加	3食提供施設：病院、介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設	－	－	19.5%	28%	33%
		1食提供施設：学校、児童福祉施設、事業所、一般給食センター	－	－	3.6%	増加	増加
1	災害時に対応できる食料品を備蓄している県民の割合の増加	－	(H25) 28.5%	30.4%	現状より5%増	現状より5%増	県民健康・栄養実態調査
1	むし歯のない3歳児の割合の増加	71.8%	82.8%	87.5%	89%	90%	母子保健事業報告
1	むし歯のない12歳児の割合の増加	(H17) 59.8%	71.2%	80.1%	81%	81%	歯科疾患実態調査
1	8020達成者の割合の増加	26.6%	29.3%	39.1%	40%	40%	県民健康・栄養実態調査
1	一口30回噛んで食べるよう意識している人の割合の増加（15歳以上）	－	19.9%	20.5%	28%	30%	県民健康・栄養実態調査
3	★学校給食における県産農林水産物を使用する割合（食材数）の増加※1	27.1%	34.2%	34.9%	35%	－	地場産物活用状況調査
3	★学校給食における県産農林水産物を使用する割合（食材数）の増加※1	－	79.6%	81.2%	83%	－	地場産物活用状況調査
3	★食育の推進に関わるボランティア数の増加※2	(H18) 165名	1,714名	(H28) 2,199人	3,000人	－	食品・流通課調査

※1 6月と11月の各1週間を調査期間としています。なお、目標は通年の目標値です。

※2 H20から個人だけでなく、団体の参加も可としました。

